

伊予市

じんけん教育

2010
No.

10

一人一人の人權が尊重される、明るい伊予市をめざして

編集・発行／愛媛縣人權教育協議會伊予市支部・伊予市教育委員會（〒799-3113伊予市米湊768番地2 ☎089-982-5155）



ぼくのにんじん大きくなっているかな？

伊予幼稚園では、健康な心と身体づくりをめざして、子どもたちが食べることを楽しいと感じ、食べ物への興味・関心をもてるようにと、いろいろな取組をしています。

園での昼食は、家庭からのお弁当です。友達と一緒に思いっきり遊んだ子どもたちはわくわくしながら、お弁当のふたを開けます。中にはお母さんの愛情がいっぱい詰まっていますが、好きなものばかりではありません。給食参観や学級懇談を通じて、栄養のバランスも考えたお弁当になっていきますので、苦手なものも入っています。家庭ではなかなか口に運べない物も、友だちと一緒に食べる楽しさで、

みんなでおくとおいしいね

身近な野菜作りの活動を通じて

伊予幼稚園



見て見て。大きなおにぎりでしょう！

少しずつ克服していくようです。

六月末、五色浜への園外保育では、おにぎりだけ持って行きました。美味しい物があふれている今、いっぱい遊んでお腹がすけば、「お母さんの作ってくれたおにぎりほど、美味しいものはない」と、いうことも知らせたかったです。

園では近くに畑を借りて、玉ねぎやじゃが芋、さつまいもを作っています。また園内でピーマン、ナス、きゅうり、トマトなどの夏野菜や人参、お米も作ってみました。年長児は、収穫した野菜でお母さんと一緒にカレーを作りました。そして後日、今度は自分たちだけで夏野菜のカレーを作り、年中・年少の子どもたちを招いてカレーパーティーを開きました。



どうやって食べる？

自分たちで作ったカレーは格別で、苦しい野菜もパクパク食べていました。また、「これ、ツルツルだ」と自分たちで作ったナスに頼りたり、塩もみしただけのナスやきゅうりを「こんなおいしいの食べたの初めて！」と言いながら、食べたりする姿もありました。人参は、ホットケーキに変身。「僕、人参食べれるよ」と、大満足の表情でした。そして野菜の苦手な子も「美味しいよ。食べてみて」と、友達に声をかけてもらったことで、初めて口にすることができ、今では食べられる物が段々増えています。

今、園の庭では、きれいな花と一緒に、ほうれん草など冬野菜が育っています。成長する野菜の世話を楽しみながら、野菜も生きているということを感じ、食べ物大切にすることが育っていくことを願っています。

人権・同和教育への取組

児童の人権感覚をみがく

下灘小学校

下灘小学校では「心豊かでたくましい児童の育成」を教育目標に、日々の指導を行っています。人権・同和教育においては「人権感覚にすぐれ、差別の解消に向けて行動する児童」を育てるために、様々な取組を行っています。その中のいくつかを紹介いたします。

人権・同和教育参観日

十一月十日に人権・同和教育参観日を行いました。三・四年の学級活動「よいところ見つけをしよう」では、友達のよいところを

一言メッセージとして手紙に書き、お互いに交換しました。児童は、うれしそうな顔をして友達からのメッセージを読んでいました。自分や友達よさに改めて気付くことができ、認め合う仲間づくりのきっかけになりました。



六年生の道徳「水平社宣言」では、歴史をたどりながら、部落差別が生まれた背景と、日本初の人権宣言ともいわれている水平社宣言について学びました。子どもたちからは、「水平社宣言について学習して、差別は本当に許せないと思った」「差別のない世

の中にしなければならぬ」などの意見が出てきました。部落差別についての正しい知識を身に付け、差別を決して許さないという気持ちをもつことができました。

その他の学年・学級の取組については本校のホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

各学年・学級の授業を参観した保護者からは「自分は大切にされる価値のある人間だということに気付いてほしい」「親が正しく生活することが大切である」などの感想が寄せられました。学習したことをもとに親子で話し合うよい機会になったようです。

人権集会

差別をなくす強調月間中の十二月一日に、「言葉について考えよう」をテーマに人権集会を行いました。全校児童が今までに言われてうれしかった言葉の第一位は「ありがとう」、第二位は「一緒に遊ぼう」、第三位は「すべ



い(ほめられた言葉)でした。友達に声をかけられてうれしかったときの様子を劇にして演じたり、「係の仕事を手伝ったときに、ありがとうと言われてうれしかったです」と体験を発表したりしました。劇や発表を見た後の話し合いでは、「一人でいる人を見かけたらいっしょに遊ぼうと声をかけたいです」「これからは、友達が聞いてうれしくなるような言葉をたくさんつかいたいです」などの意見が出てきました。言葉に対する感覚をみがき、友達を元気にする言葉があふれる学校にしたいという意欲をもつことができました。

ありがとうの木

自分がしてもらったことや、ありがとという感謝の気持ちをカードに書いて掲示しています。カードには「いつも相談相手になってくれてありがとう」「やさしく声をかけてくれてありがとう」など書かれています。お互いのよさを認め合い、仲間の大切さを感じることができています。



人権感覚は、いつもみがいていないと錆びついてしまつと言われています。今後も、機会を捉えて児童の人権感覚をみがくとともに、教職員自身が研さんを深め、学校・家庭・地域が一体となつて人権・同和教育に取り組んでいかなければならないと考えています。

平成21年度 第32回 伊予市人権・同和教育研究会

研究主題「人権問題の解決に向けて、主体的に行動できる生徒の育成」

下 灘 中 学 校



〈調べ学習の発表風景〉

下灘中学校では、二〇〇九(平成二十一)年十一月十七日に伊予市人権・同和教育研究会を行いました。

当日は、本校で毎年行っている人権集会を参観していただきました。集会後は、前西条市教育委員会人権教育指導員であり、「千の風になつて」の歌でも知られる歌手の秋川雅史さんの父親である秋川暢宏さんから「いのち輝いて」という演題で講演をしていただきました。

今年の人権集会では、まず「人権の歴史」と「ふるさと双海・ふるさと下灘」をテーマに調べた学習班が発表をしました。「人権の歴史」では、なぜ差別が始まり現在も残っているのかを詳しく調べ、



〈人権劇の発表風景〉

その内容の発表を、また、差別をなくすためにはどうすればいいかを提案されました。「ふるさと双海・下灘」では、

住んでいる町を再認識すると同時に、よりすばらしい町にするためにはどうすればいいかを考えました。そして、調べ学習の発表の後、人権劇「みかんの薫るふるさと」の発表を行いました。今回の人権劇では、ふるさとをテーマに相手の立場や思いを尊重することの大切さ、差別することの醜さや差別を受けた人の痛みや怒りを考えながら脚本をねり、練習を重ねてきました。当日は生徒の熱演もあり、参観された方々の評価も非常に高いものでした。これらの活動を通して、本校生徒の人権意識は高いものとなっており、今後は人権問題を解決する実践力を身につけてほしいと考えています。

これまで、本校ではこの人権集会を基盤とした人権・同和教育の推進に取り組んできました。残念ながら、本校は本年度限りで閉校します。来年度からは上灘中学校と統合し、双海中学校として出発します。統合後も今まで以上に、人権・同和教育の充実に取り組んでいきたいと思えます。

すべての差別をなくす 人権・同和教育の推進

中山地区公民館「地区別懇談会」

十二月一日から、中山地域での地区別人権・同和教育懇談会を、野中・中山・永木・佐礼谷の四地区で実施しました。各地区の公民館等を会場に、広報委員さん、指導助言者として中山小・中学校の人権・同和教育主任さん、また、各先生方のご協力を頂き、開催しました。

懇談会の学習は、参加体験型学習の実施・人権啓発ビデオの視聴・社会教育指導員の講話等で行いました。



〈ワークショップの作業中〉

はじめに、中山小学校人権・同和教育主任さんの指導により、「わたしたちのまち 再発見」という参加体験型学習を行いました。「町にある危険や、施設の不備を入れた絵」を見ながら、生活の中の不合理や差別の解消に向けて、個人で考え、その後グループで話し合いました。身近な生活を安心して暮らせる町づくりの視点で考え、差別解消に向けての積極的・主体的な取り組みについて深く考えました。

次に人権啓発ビデオ「同級生」を視聴しました。三十年前、部落差別が原因で、仲たがいになっていた二人の父親が、子どもたちや家族同士のふれあいの中で、再び部落差別と向き合いながら友情を取り戻していく姿が描かれていました。参加者も、地域や家族で子どもたちに同和問題を正しく伝えることの大切さを改めて認識することができた内容でした。講話では、社会教育指導員が講師となり、伊予市で取り組んでいる「身元調査お断り運動」の

第61回
全国人権・同和教育研究大会開催
 二〇〇九(平成二十一年)十一月
 二十八(土)・二十九(日)日 四日市市



〈開会式風景〉

第六十一回全国人権・同和教育研究大会が三重県で開催されました。今年度より、一般社団法人 全国人権教育研究協議会と名称を改め、「差別の現実から深く学び、生活を高め、未来を保障する教育を確立しよう」という研究大会テーマのもとに「事実と実践を重視する取組を推進し、差別を生み出すものや考え方を変えていく着実な歩みを進める」という視点で研究を進める大会でした。そして、「みえ発 人権文化の具体像熱く光あふれる未来を」の地元テーマのもとに、各地からの報告を聞き、研究協議を行い、実践につなげる研修ができました。

伊予市からは四十五名が参加し、全体会の後、四分科会に別れて研修をしました。分科会での報告と質疑・討議は熱がこもり、参加していただくことを学びました。

参加者の感想文を紹介します。

◆第六十一回 全国人権・同和教育研究大会に参加して

今年は、全国人権・同和教育研究大会が三重県で開催された。昨年は、全国水平社運動発祥の地である奈良県で開催され、はじめて参加をし、圧倒されるが多かった。本年参加した三重県での研究大会は、感動することが多かった。

全体会のオープニング前に、大会のイメージソング「夢のとびら」という歌の大合唱があった。「夢のとびらと一緒にあげよう すてきな未来へ だれも悲しまず だれも苦しまず 喜びにあふれ(中略) この世界を変えるのは ひとりひとりの力 輝く明日が来るのを信じて ともに歩きたぞう」地元の人がステージとその前フロアをうめ、会場に集う一万三千五百人の大合唱に胸が熱くなった。

午後から翌日にかけては、分科会に参加した。私は、「生活課題と学習活動」



〈分科会風景〉

の部会に参加した。千葉県からは、障害がある方が小さい時から様々なじめや偏見、差別に苦しんだが、同和教育との出会いの中で差別や偏見は、人の心を傷つけ、苦しませることに気づき、体験を語ることでより多くの人に働きかけようと、活動し始めた実践事例の報告があった。

鳥取県の女性からは、自分は東京生まれ、同和問題は考えたことがなかった。しかし、結婚した夫が被差別部落の人だったことから、言われなき中傷や偏見、差別を受けるようになり、同和問題と真剣に向き合っており、学習会にも積極的に参加し、人権教育の推進委員をしているという報告であった。

会場参加者討議の中で、「人権・同和問題の話をする時、堂々と同和問題が話し合えるようになってこそ真の人権・同和教育ができるようになる」と、話されたことが印象に残った。自分自身に問い直してみようと考えさせられることの多い研修であった。



〈懇談会風景〉



推進、「迷信や古い因習からの偏見や差別」・「根強い結婚差別」など、私たちの身近に存在する差別問題の話があり、家庭や地域における正しい人権・同和教育の大切さを学びました。

中山地域でも、この「地区別懇談会」は長年にわたり継続し、実施しています。参加人数や内容等に課題もありますが、日常生活において、人権問題を改めて考え直すよい機会となりました。今後とも地域ぐるみでの皆様のご協力をお願いします。

ワークショップ
「このマーク知っていますか」



AEDとは、日本語で「自動体外式除細動器」といいます。AEDは、人が突然心臓停止状態に陥った場合に、心臓の状態を解析し、致死的不整脈である場合は、心臓に電気ショックを与え、心臓の動きを正常な状態へ戻すための機器です。AEDは一般的に、不特定多数の人が出入りする場所に設置されており、AEDが設置されているところは、ステッカー等により表示されています。

伊予市でも、一部の医療機関や福祉施設、学校、ホテル等に設置されているようです。また、十人以上の市民が参加して行うスポーツ大会、コンサート等で、行事参加者の中に、AEDの取扱に係る救命講習を受講された方がいれば、伊予市役所の防災安全課へ貸し出し申請を行うことで、AEDを借り受けすることが可能です。なお、AED取扱に関する救命講習についての詳しい内容については、消防署へお尋ねください。

第24回 人権啓発標語入選作品

一人一人の人権が尊重される 明るい伊予市をめざして

応募数/小学校	258点
中学校	108点
高校	42点
成人	362点
応募総数/	770点

多数の応募ありがとうございました。入選作品を紹介します。(敬称略)

小学生の部

- 「よせて」「いいよ」わたしのクラスは えがおがいっぱい
中山小学校 1年 山中 望未
- わたしたち いじわるなんか だいきらい
伊予小学校 1年 戸田 葵
- つくりたい クラスみんなの いいえがお
由並小学校 2年 小林 優衣
- ともだちの やさしいえがお たからもの
郡中小学校 2年 高野 芽衣
- 話そうよ 一人でなやんで いないでね
南山崎小学校 3年 石井野乃夏
- 勇気出せ みてみぬふり なくすんだ
郡中小学校 3年 瀧畑 陸也
- やめようよ けんかにつながる その言葉
下灘小学校 4年 松田 宣完
- さりげない きみのやさしさ かっていい
中山小学校 4年 清水 舞
- まちいっぱい えがおの花を さかせたい
郡中小学校 4年 篠崎 あみ
- だいじょうぶ 一人じゃないよ みんないる
北山崎小学校 5年 向井 雅也
- 君がくれた あの時の勇気 今、ぼくが返す番
北山崎小学校 5年 徳田 泰佑
- 私でも だれかのささえに になれるはず
伊予小学校 5年 友澤 和花
- 目の前で そっと差し出す やさしい手
佐礼谷小学校 6年 上岡 侑奈
- 勇気をだそう その一歩で みんな笑顔
翠小学校 6年 森田麻実加
- ふみ出そう いじめるがわから 守るがわ
郡中小学校 6年 宮崎 太星
- 人権は 互いの思いが 守るもの
伊予小学校 6年 小玉 滉貴
- 強いのは いじめる人より 止める人
中山小学校 6年 久保 心咲

中学生の部

- とどけよう あなたが えがいた 思いやり
伊予中学校 1年 松浦 大輝
- さしのべて あなたのやさしさ あたたかさ
下灘中学校 1年 立田 史紅
- 笑い声 幸せ運ぶ かけ橋に
港南中学校 1年 平井 南帆
- いじめの芽 摘んだらきれいな 華が咲く
伊予中学校 2年 佐々木智華
- いつまでも きみの笑顔が 宝物
下灘中学校 2年 福本真奈美
- 笑顔はね みんなにうつる 不思議な魔法
中山中学校 2年 藤本 真由
- 言葉には 人を助ける ちからあり
港南中学校 3年 入河 直斗
- ありがとう 心に響く 友の声
港南中学校 3年 平岡 桂樹
- 感じよう 相手の気持ちに なってみて
上灘中学校 3年 吉田くるみ

高校生の部

- 違う個性 尊重しあう 暖かさ
伊予農業高校 1年 小川 舞
- 間違いを 相手に伝える その勇気
伊予農業高校 2年 高橋 廉
- 差別せず 明るい心で 笑顔の輪を 広げよう
中山高校 3年 矢野 愛理

成人の部

- さあ行こう あなたと私 同じだよ
伊予市双海町 高村 真理
- だいじょうぶ その一言で ほっとする
伊予市上吾川 大西 壘子
- 守りたい 子どもの笑顔 いつまでも
伊予市上唐川 富田 直美
- 見つけよう 見つけてもらおう いいところ
伊予市大平 田中 衣可
- いい笑顔 元気なあいさつ 明るい未来
伊予市中山町 金山 武志
- あなたです いじめをするのも なくすのも
伊予市中山町 篠崎 春樹
- あたたかな 言葉が そっと背中おす
伊予市下吾川 平石 香愛
- 今日の笑顔が 未来のあなたに つながるよ
伊予市中山町 谷崎 文美
- 広げよう 君の優しさ 友達に
伊予市下三谷 稲田 正弘
- 差別する 大人の背中を 子は見てる
伊予市下三谷 小笠原泰代
- 抱きしめて 温もり 愛情伝えよう
伊予市上野 上本 亮
- やらないよ。 自分がされたら いやなこと
伊予市上野 前田 弘美
- 助け合う 笑顔でつなぐ 心の輪
伊予市上三谷 武智 靖夫
- 育てよう! 地域の子どもの 優しい芽
伊予市上三谷 倉岡 明美
- かけようよ やさしい言葉と 愛の手を
伊予市宮下 仲島いつる
- あいさつと 笑顔広がる 伊予のまち
伊予市上野 清水 誠司